

# 南小PTAだより

編集 発行  
中道南小PTA  
情報活動部

## 『不親切な親切』



校長 加賀美 猛

県教委勤務時代、高齢者体力測定での出来事です。

若干お疲れ模様だった参加者に「大丈夫ですか」を手を差し伸べたところ、余計なことをすると言わんばかりに叱責を受けたことがあります。ご本人にしてはやる気があるのにそう見られたことに腹を立てたのかもしれないません。私の親切心は、本人にとって実に不親切だったようです。注意深く「放って」おいたほうが親切だったのかもしれないと反省。

これは、高齢者の話題ですが、成長真っ只中の子どもたちには、この辺の見極めは非常に大切です。子どもに失敗させまいと過度な心遣いをして、あれやこれやと手を回し、子どもにとって大切な経験を摘んではいないだろうか、立ち止まって振り返る必要があるかもしれない。子どもは壁に当たったとき、何か解決策を探り、それを何とか乗り越える力を持っているのです。そしてそれを陰ながら後押しするのが、私たち大人の役目だと考えます。その経験を積ませる「不親切」は、子どもの将来にとって本当の「親切」だと思っています。

今年度本校では、「かしこくなかよく、げんきよく」を合言葉に学校教育を進めています。その実現に向け凡事徹底を胸に教職員一同チームワークで「親切」な関わりを努めていきたいと思えます。保護者、地域の皆様方には、本校の教育活動に對しましてこれまでと変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

## 『はじめての体けん』

二年 大と

小林さんのはたけでもものしゆるいについて教えてもらいました。はじめて行ったたき戸川では、カニやおにやんまがとれました。ほいくしよの子たちといっしょに、かくれんぼもやりました。みんなでがんばってあるいて、ちよときつかったけれど、とてもたのしかったです。

## 『楽しかったハイキング』

三年 陽菜

上九方面は初めての場所ばかりでした。直売所の上もぎまんじゅう、旧上九小学校の屋上のけ色、旧上九ゆう便局の木のポスト、上九の湯のおふろと、いろいろな思い出ができました。旧上九小や旧ゆう便局は、むかしがいつばいでびつくりしました。四年生でもいつばい思い出を作りたいです。

## 『きれいな川、滝戸川』

四年 かいり

ふるさとハイキングで滝戸川へ行き、川の虫のとり方を教えてもらいました。水の内がわからゆつくりととるといいといわれ、ぼくはハヤを二ひきつかまえました。川ガニや、ホタルのえさとなる、カワニナという貝も見つけました。暑かったけどとても楽しい一日でした。



# 中道ふるさとハイキング

6月16日



## 『晋の時代へレッツゴー』

五年 由万

ぼくは、中道ふるさとハイキングで上九に行きました。旧上九郵便局では、昔にタイムスリップした気がしました。そして、けいたいが出てきたから郵便を使う人が少なくなってしまうたとききました。便利な物が作られても昔のものを大事にするようにしようと思いました。

\*当日は十二名の保護者の皆さまのご支援をいただき、後日、感想もお寄せいただきました。(一部を紹介させていただきます)

風土記の丘研修センターでは、まだ歴史を学んでいない中学年、低学年の子どもたちも積極的に次々に質問している姿が印象的でした。実物の土器に触れたり、火おこしを体験することで、地域の歴史に更に興味を持つ良い機会になったと思います。

歩くことで、ふるさとの再発見をすることができました。人の営みの移り変わりの中で、残された自然がタイムカプセルのように感じました。川のせせらぎや風の音が、何かメッセージを運んでくれていたように感じました。貴重な体験をありがとうございました。

